

○堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則

平成 26 年 1 月 24 日

規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例（平成 25 年条例第 44 号。以下「条例」という。）第 29 条の規定に基づき、堺市立歴史文化にぎわいプラザ（以下「プラザ」という。）の管理及び運営について必要な事項を定める。

(開館時間及び休館日)

第 2 条 プラザの開館時間は、別表第 1 のとおりとする。ただし、市長は、特に必要があると認めるときは、これを変更することがある。

2 プラザの休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、特に必要があると認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館し、若しくは開館することがある。

(1) 毎月第 4 月曜日（観光案内展示室を除くこととし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（次号において単に「休日」という。）に当たるときは、その翌日）

(2) 休日の翌日

(3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日

(観覧の手続)

第 3 条 常設展示室の展示（以下「常設展」という。）又は企画展示室の特別展示（以下「特別展」という。）を観覧しようとする者は、観覧料の納付と引換えに観覧券（様式第 1 号）の交付を受けなければならない。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(観覧料)

第 4 条 常設展に係る条例第 4 条の市長が定める観覧料は、別表第 2 のとおりとする。

2 特別展に係る条例第 4 条の市長が定める観覧料は、1 人 1 回につき 1,030 円以内においてその都度市長が定める額とする。

(平 26 規則 8・令元規則 65・一改)

(観覧料の減免)

第 5 条 条例第 14 条の規定により観覧料を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 本市の区域内にある学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する小学校又は中学校（特別支援学校の小学部又は中学部を含む。）の児童又は生徒及びこれら

を引率する教職員（当該児童又は生徒が介護者を必要とするときは、当該介護者を含む。）が教育上の目的で観覧するとき。 全額

(2) 児童福祉法（昭和22年法律第164条）第7条に規定する障害児入所施設、児童発達支援センター又は情緒障害児短期治療施設の児童及びこれらを引率する教職員（当該児童が介護者を必要とするときは、当該介護者を含む。）が教育上の目的で観覧するとき。 全額

(3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者（介護者を必要とするときは、当該介護者を含む。）が観覧するとき。 全額

(4) 療育手帳制度について（昭和48年厚生省発児第156号厚生事務次官通知）に基づく都道府県等の規程により療育手帳の交付を受けている者（介護者を必要とするときは、当該介護者を含む。）が観覧するとき。 全額

(5) 精神保健及び精神障害福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（介護者を必要とするときは、当該介護者を含む。）が観覧するとき。 全額

(6) 前各号に掲げるもののほか、市長において特別の理由があると認める者が観覧するとき。 市長が必要と認める額

（観覧料の減免申請）

第6条 条例第14条の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ観覧料減免申請書（様式第2号）により市長に申請しなければならない。この場合において、市長は、必要があると認めるときは、減額又は免除について参考となる資料を添付させることがある。

2 次の各号に掲げる者は、当該各号に定める証明書類をプラザの窓口において提示することにより、前項の申請書に代えることができる。

(1) 前条第3号に規定する者 身体障害者手帳

(2) 前条第4号に規定する者 療養手帳

(3) 前条第5号に規定する者 精神障害者保健福祉手帳

（観覧料の還付）

第7条 条例第15条ただし書の規定により観覧料を還付することができる場合及びその還付額は、次のとおりとする。

(1) 天災地変その他常設展又は特別展を観覧しようとする者の責めに帰さない理由によ

り、観覧することができなくなったとき。 観覧料の全額

- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が特別の理由があると認めるとき。 その都度市長が定める額

2 前項の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ観覧料還付申請書（様式第3号）により市長に申請しなければならない。

（観覧料等の割引）

第8条 市長は、条例第1条に規定するプラザの設置の目的を達成するため、次の場合に限りに、観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）を割り引くことができる。

- (1) 常設展及び特別展を共通で観覧できる共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 常設展又は特別展と茶の湯等体験室又は復元茶室とを共通で観覧し、及び使用できる共通割引券を利用して観覧し、及び使用する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、プラザの利用を促進するものとして市長が特別の理由があると認める場合

2 第4条第1項及び第2項並びに第17条第1項及び第2項の規定にかかわらず、前項の規定により観覧料等を割り引く場合の観覧料等の額は、その都度市長が定めるものとする。

（令3規則53・一改）

（使用の申請）

第9条 条例第5条第1項の規定により使用許可を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用申請書（様式第4号）により市長に申請しなければならない。

2 前項の規定による申請は、使用開始日の6月前の日の属する月の初日（当該属する月が1月にあつては4日を初日とし、初日が休館日に当たるときはその翌日）から受理するものとする。ただし、市長が特に必要があると認める者については、この限りでない。

（使用の制限）

第10条 市長は、条例第7条第1項各号に規定するもののほか、次の各号のいずれかに該当するときは、許可施設（条例第5条第1項に規定する許可施設をいう。以下同じ。）の使用を許可せず、又は使用許可を取り消し、若しくは使用を制限することがある。

- (1) 許可を受けないで物品の販売のために使用するとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、許可施設の管理上支障があり、市長が不適當であると認めるとき。

（使用許可）

第11条 条例第5条第1項の規定による使用許可は、条例第11条第3項の規定により使

料金を後納する場合を除き、使用料の納付があった後、堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用許可書（様式第5号。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付して行う。

- 2 第9条第1項及び前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる施設の使用（共用の使用の場合に限る。）については、当該各号に定める利用券（共通割引券を含む。以下同じ。）を求めなければならない。この場合においては、利用券の交付をもって、許可書の交付に代えるものとする。

(1) 茶の湯等体験室 茶の湯等体験室利用券

(2) 復元茶室 復元茶室利用券

（使用許可の順位）

第12条 使用許可の順位は、使用の申請を受理した順位による。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可書の提示義務）

第13条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その使用中、使用許可書又は利用券を携帯し、係員から求められたときは、いつでもこれを提示しなければならない。

（使用許可の変更）

第14条 使用者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、使用しようとする日前7日までに堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用許可変更申請書（様式第6号）に使用許可書又は利用券を添付して市長に申請しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定による申請があった場合において、やむを得ない理由があるとき、1回に限り使用許可の変更を承認するものとする。

- 3 市長は、前項の規定により使用許可の変更を承認したときは、変更前の使用許可書又は利用券と引換えに、使用許可書又は利用券を使用者に再交付するものとする。

（使用者の遵守事項）

第15条 使用者は、条例に定めるもののほか、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可を受けないで物品の販売をしないこと。
- (2) 所定の場所以外で飲食し、又は火気の使用（喫煙を含む。）をしないこと。
- (3) 許可を受けないでプラザ内に貼り紙、くぎ打ち等をしないこと。
- (4) 許可を受けていない施設、附属設備等を使用しないこと。
- (5) 許可を受けないで附属設備等を所定の場所以外に持ち出さないこと。
- (6) 許可施設の入館者に次条に定める事項を遵守させること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、係員から指示されたこと。

(令元規則 6 5 ・ 一 改)

(入館者の遵守事項)

第 1 6 条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 騒音、放歌、暴力等他人に迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 所定の場所以外に出入りしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は火気の使用（喫煙を含む。）をしないこと。
- (4) 館内を不潔にしないこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、係員から指示されたこと。

(令元規則 6 5 ・ 一 改)

(使用料)

第 1 7 条 条例第 1 1 条第 1 項の市長が定める使用料は、別表第 3 のとおりとする。

2 条例第 1 1 条第 2 項の市長が定める使用料は、別表第 4 のとおりとする。

3 市長は、条例第 5 条第 1 項後段の規定により使用許可の変更の承認をしたときは、既納の使用料を変更後の使用許可に係る使用料（以下この項において「変更後の使用料」という。）の全部又は一部に充てることができる。この場合において、既納の使用料に残額が生じたときは当該残額を還付しないものとし、変更後の使用料に不足額が生じたときは当該不足額を直ちに使用者に追加納付させるものとする。

(令 3 規則 5 3 ・ 一 改)

(使用料の減免)

第 1 8 条 条例第 1 4 条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 本市又は条例第 2 0 条の規定によりプラザの管理を行う指定管理者が主催し、又は共催する行事のために使用するとき。 全額
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が特に認めるとき。 市長が必要と認める額

2 条例第 1 4 条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用料減免申請書(様式第 7 号)により市長に申請しなければならない。この場合において、市長は、必要があると認めるときは、減額又は免除について参考となる資料を添付させることがある。

(使用料の還付)

第 1 9 条 条例第 1 5 条ただし書の規定により使用料を還付することができる場合及びその還付額は、次のとおりとする。ただし、第 1 1 条第 2 項後段の規定により利用券を交付

した場合に係る使用料については、第 2 号の規定は適用しないものとする。

(1) 天災地変その他使用者の責めに帰さない理由により使用できなくなったとき。 既納の使用料の全額

(2) 使用者が使用しようとする日前 7 日までに許可施設の使用の取消しを申し出て、その理由が認められたとき。 既納の使用料の全額

2 前項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用料還付申請書（様式第 8 号）に使用許可書又は利用券を添付して、市長に申請しなければならない。

（使用終了の届出）

第 20 条 使用者は、許可施設の使用（利用券による使用の場合を除く。）を終えたときは、直ちに係員に届け出て、その検査を受けなければならない。

（駐車場の管理運営等）

第 21 条 駐車場の供用時間は、午前 0 時から午後 12 時までとする。ただし、市長は、特に必要があると認めるときは、これを変更することがある。

2 市長は、駐車場の管理上支障を及ぼすおそれがあるときは、駐車を拒み、又は駐車場からの退去を命ずることができる。

3 駐車場の利用者は、他の自動車の駐車を妨げるなど、駐車場の管理上支障を及ぼすおそれがある行為をしてはならない。

4 駐車場の施設若しくは附属設備又は他の自動車等に損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。

5 本市は、駐車場において、利用者に次の各号のいずれかに該当する損害が生じたときは、その損害を賠償する責めを負わない。

(1) 災害その他不可抗力により生じた損害

(2) 自動車相互の接触、盗難等により生じた損害

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、本市の責めに帰することができない事由により生じた損害

（駐車料金）

第 22 条 条例第 12 条第 1 項の市長が定める使用料（以下「駐車料金」という。）は、別表第 5 のとおりとする。

（令 3 規則 53・一改）

（駐車料金の減免）

第 23 条 条例第 14 条の規定により駐車料金を減額し、又は免除することができる車両及びその額は、次のとおりとする。

(1) 本市又は他の地方公共団体の公用自動車 全額

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める車両 市長が必要と認める額

2 大型車等（道路交通法施行規則（昭和 35 年総理府令第 60 号）第 2 条の表に規定する大型自動車、中型自動車又は準中型自動車をいう。以下同じ。）の駐車料金については、前項第 1 号の規定は適用しない。

（令 3 規則 53・一改）

（駐車料金の還付）

第 24 条 条例第 15 条ただし書の規定により駐車料金を還付することができる場合及びその還付額は、次のとおりとする。

(1) 天災地変その他駐車場の利用者の責めに帰さない理由により利用できなくなったとき。 全額

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が特別の理由があると認めるとき。 その都度市長が定める額

2 第 19 条第 2 項の規定は、前項の規定により駐車料金を還付する場合について準用する。この場合において、同項中「使用料」とあるのは「駐車料金」と、「使用許可書又は利用券」とあるのは「使用許可書」と読み替えるものとする。

（特別利用の申請等）

第 25 条 条例第 13 条第 1 項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、あらかじめ堺市立歴史文化にぎわいプラザ特別利用許可申請書（様式第 9 号）により市長に申請しなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、また同様とする。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用の許可をしない。

(1) 特別利用によって資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。

(2) 現に資料が展示されているとき。

(3) 資料が寄託された資料である場合において、当該寄託者の同意を得ていないとき。

(4) 申請者が著作権者の承諾を得ていないとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特別利用をさせることが不適當であると認めるとき。

3 特別利用の許可は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ特別利用許可書（様式第 10 号）を申請者に交付して行う。

- 4 特別利用許可書の交付を受けた者は、速やかに別表第 6 に定める利用料を納付しなければならない。

(令 3 規則 5 3 ・一改)

(利用料の減免)

第 26 条 条例第 14 条の規定により利用料を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 教育上又は学術上の調査研究又は啓発のために特別利用をする場合で市長が必要と認めるとき。 全額
- (2) プラザの広報に関し効果があると認められる用途に供することを目的とした特別利用のとき。 全額
- (3) 本市又は条例第 20 条の規定によりプラザの管理を行う指定管理者が主催し、又は共催する行事のために使用するとき。 全額
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長において特別の理由があると認めるとき。 その都度市長が定める額

- 2 条例第 14 条の規定により利用料の減額又は免除を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ利用料減免申請書(様式第 11 号)により市長に申請しなければならない。この場合において、市長は、必要があると認めるときは、減額又は免除について参考となる資料を添付させることがある。

(利用料の還付)

第 27 条 条例第 15 条ただし書の規定により利用料を還付することができる場合及びその還付額は、次のとおりとする。

- (1) 天災地変その他特別利用の許可を受けた者の責めに帰さない理由により特別利用をすることができなくなったとき。 既納の利用料の全額
- (2) 特別利用をする前に特別利用の取消しを申し出て、その理由が認められたとき。 その都度市長が定める額

- 2 前項の規定により利用料の還付を受けようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ利用料還付申請書(様式第 12 号)に特別利用許可書を添付して、市長に申請しなければならない。

(資料の館外貸出し)

第 28 条 市長は、資料の館外への貸出し(以下「館外貸出し」という。)をしない。ただし、博物館、図書館、学校、研究所その他市長が適当であると認める者については、資料

の館外貸出しを行うことがある。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料館外貸出許可申請書（様式第 13 号）により市長に申請し、その許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときも、また同様とする。
- 3 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、資料の館外貸出しを許可しない。
 - (1) 館外貸出しによって資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。
 - (2) 現に資料が展示されているとき。
 - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、市長が資料の館外貸出しをすることが不適当であると認めるとき。
- 4 資料の館外貸出しの許可は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料館外貸出許可書（様式第 14 号）を申請者に交付して行うものとする。
- 5 資料の館外貸出しの期間は、1 月以内とする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

（原状回復等の義務）

第 29 条 入館者及び特別利用又は資料の館外貸出しの許可を受けた者は、自己の責めに帰すべき理由により、資料、施設その他附属設備等を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、代物を弁償し、又はその損害を賠償しなければならない。

（資料の寄贈又は寄託）

第 30 条 条例第 16 条第 1 項の規定により資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料寄贈申込書（様式第 15 号）又は堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料寄託申込書（様式第 16 号）を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、資料の寄贈又は寄託を受け入れたときは、寄贈者に対しては堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料受領書（様式第 17 号）を、寄託者に対しては堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料受託書（様式第 18 号。次項において「資料受託書」という。）を交付するものとする。
- 3 市長は、寄託を受けた資料（以下「寄託資料」という。）を前項の資料受託書と引換えに返還するものとする。

（寄託資料の取扱い）

第 31 条 寄託資料は、特約の定めがある場合のほか、プラザが所蔵する資料と同様の取扱いをするものとする。

- 2 市長は、寄託者の承諾を得た寄託資料でなければ、特別利用又は館外貸出しを行わない。

3 寄託資料の運搬費及び展示のために必要な修理費は、本市においてその全部又は一部を負担することができる。

(施設等の破損等の届出)

第32条 入館者及び使用者は、プラザの施設、附属設備等を破損し、又は滅失したときは、直ちに堺市立歴史文化にぎわいプラザ破損(滅失)届(様式第19号)により市長に届け出て、その指示を受けなければならない。

(指定管理者の指定手続)

第33条 条例第22条第2項の申請書は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ指定管理者指定申請書(様式第20号)とする。

2 条例第22条第2項の規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為又はこれらに類する書類
- (2) 法人の登記簿に記録されている事項の全部を証明する書類
- (3) 役員名簿
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める書類

(令3規則53・一改)

(委任)

第34条 この規則に定めるもののほか、プラザの管理及び運営について必要な事項は、所管部長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成27年3月20日から施行する。ただし、第9条から第15条まで、第17条から第19条まで、第21条から第24条まで、第34条、別表第3、別表第4及び様式第4号から様式第8号までの規定は、平成27年3月1日から施行する。

(平27規則3・一改)

(施行前の準備行為)

2 この規則の施行日以後の使用に係る使用の許可及び指定管理者の指定に関し必要な手続その他の行為については、この規則の施行前においても、この規則の例により行うことができる。

附 則 (平成26年3月20日規則第8号)

(施行期日)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(適用区分)

- 2 この規則による改正後の各規則の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る使用料等から適用し、同日前の利用に係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成27年2月12日規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和元年9月27日規則第65号）

(施行期日)

- 1 この規則は、令和元年10月1日から施行する。

(適用区分)

- 2 この規則による改正後の各規則の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る利用料金等（この規則の公布の日前になされた申請等に係るものを除く。）について適用し、同日前の利用に係る利用料金等については、なお従前の例による。

附 則（令和2年10月30日規則第89号）

(施行期日)

- 1 この規則は、令和2年11月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際、この規則による改正前の堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則の様式に関する規定により作成され、現に保管されている帳票については、当分の間、この規則による改正後の堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則の様式に関する規定による帳票とみなして使用することができる。

附 則（令和3年3月31日規則第53号）

(施行期日)

- 1 この規則中第1条の規定は令和3年4月1日（以下「施行日」という。）から、第2条の規定は同月7日から施行する。

(適用区分)

- 2 この規則による改正後の別表第5の規定は、施行日以後に開始する使用に係る使用料について適用し、施行日前に開始する使用に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1（第2条関係）

施設	開館時間
観光案内展示室	午前9時30分から午後6時00分まで
常設展示室、企画展示室及び復元	午前9時30分から午後5時15分まで

茶室	(入室できる時間は、午後 4 時 45 分まで)
茶の湯等体験室（立礼席）	午前 10 時 00 分から午後 5 時 00 分まで (入室できる時間は、午後 4 時 30 分まで)
茶の湯等体験室（茶室広間）	午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
講座室	午前 9 時 30 分から午後 6 時まで

別表第 2（第 4 条関係）

(平 26 規則 8・令元規則 65・一改)

1 通常の観覧料

区分	単位	観覧料		
		大人	高校生 大学生	小学生 中学生
常設展	1 人・1 回	310 円	200 円	100 円
	20 人以上の団体 (1 人・1 回)	250 円	160 円	80 円
	1 人・1 年	1,030 円	830 円	620 円

2 回数券による観覧

区分	金額
常設展	3,130 円

備考 回数券は、1 枚につき 1 人 1 回常設展を観覧することのできる観覧券 12 枚をつづつたものとし、市長が定める有効期間内に限り使用できるものとする。

別表第 3（第 17 条関係）

(平 26 規則 8・令元規則 65・令 3 規則 53・一改)

1 専用（団体）使用料

区分	午前	午後	全日
	9 時 30 分から 12 時まで	1 時から 6 時まで	午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
茶の湯等体験室（茶室広間）	6,800 円	14,140 円	20,940 円
茶の湯等体験室（立礼席）	3,130 円	7,330 円	10,460 円
講座室（1 及び 2）	3,130 円	7,330 円	10,460 円
企画展示室	10,470 円	20,950 円	31,420 円

備考

- 1 使用者が入場料その他これに類するものを徴収するとき、又は物品の展示販売その他営利を目的とする行為を行うときは、それぞれの区分に係る使用料の 5 割以内において市長が定める額を当該使用料に加算する。
- 2 冷暖房装置を使用するときは、それぞれの区分に係る使用料の 2 割以内において市長が定める額を当該使用料に加算する。
- 3 講座室 1 又は 2 のみを使用するときは、それぞれの区分に係る使用料の 5 割に相当する額を当該使用料から減算する。
- 4 企画展示室を間仕切りで分割して、その一方のみを使用するときは、それぞれの区分に係る使用料の 5 割に相当する額を当該使用料から減算する。

2 共用（個人）使用料

区分	単位	使用料	
茶の湯等体験室	1 人・1 回	1, 030 円	
復元茶室	1 人・1 回	大人	1, 030 円
		高校生・大学生	830 円
		小学生・中学生	620 円

別表第 4（第 17 条関係）

（令 3 規則 53・追加・一改）

区分	単位	使用料
映像設備	1 式・1 回	1, 030 円
拡声設備	1 式・1 回	1, 030 円
VRゴーグル	1 台・1 回	1, 500 円

別表第 5（第 22 条関係）

（令 3 規則 53・全改）

区分	単位	駐車料金	
普通車	1 台	最初の 1 時間までのとき。	510 円
		1 時間を超え 12 時間までのとき。	510 円に 1 時間を超える部分について 30 分までごとに 100 円を加算した額
		12 時間を超え 24 時間ま	2, 710 円

		でのとき。	
		24 時間を超えるとき。	2,710 円に 24 時間を超える部分について 30 分までごとに 100 円（ただし、24 時間につき 2,710 円を上限とする。）を加算した額
大型車等	1 台・1 日		1,030 円

備考 プラザに入館した者に係る駐車料金（普通車の駐車に係るものに限る。）については、次の各号に掲げる区分に応じて、当該各号に定める駐車後最初の時間数の駐車料金を無料とした上で、当該時間数を超える駐車時間についてこの表を適用して算定する。

- (1) プラザの観光案内展示室を利用した場合（次号及び第 3 号の場合を除く。） 1 時間
- (2) プラザの常設展又は企画展を観覧した場合 2 時間
- (3) プラザの茶の湯等体験室（共用（個人）使用の場合に限る。）又は復元茶室を使用した場合 2 時間

別表第 6（第 25 条関係）

（令 3 規則 53・旧別表第 5 繰下）

区分		単位	利用料
熟覧		1 日・1 点	重要なもの 350円
			その他 100円
模写又は模造		1 日・1 点	1,000円
撮影	写真撮影	1 回・1 点	学術研究を目的とする場合 350円 (100円)
			その他 2,000円 (1,000円)
	放映 (映画・テレビ等)	1 回・1 点	3,000円 (1,500円)

備考

- 1 この表における点数の算定は、次のとおりとする。
 - (1) 通常個別の品物として認められるものは、その品物をそれぞれ 1 点とする。
 - (2) 屏風は、1 双を 1 点とする。
 - (3) 巻物は、1 巻を 1 点とする。
 - (4) 小型軽量のもので、数個 1 組又は 1 箱になっているものは、1 組又は 1 箱をも

って1点とする。

(5) 多数のもので、1揃い又は1具となっているものは、適宜数量に応じて数点に分けるものとする。

(6) その他の資料は、各個を1点とする。

2 かつこ書に定める金額は、プラザ所蔵の原板より、撮影をした場合の利用料とする。

3 利用の期間には、資料の郵送期間を含む。

様式第 1 号（第 3 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ

観 覧 券

千利休茶の湯館・与謝野晶子記念館
企画展示室

1 人 1 回

円

様式第 2 号（第 6 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ観覧料減免申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザに係る観覧料の減免を受けたいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり申請します。

観 覧 日 時		
減免申請の理由		
※ 観 覧 料	円	備考
※ 減 免 額	円	
※ 差 引 納 付 額	円	

注意 ※印の箇所は、記入しないでください。

様式第3号（第7条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ観覧料還付申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザに係る観覧料の還付を受けたいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第7条第2項の規定により、次のとおり申請します。

還付申請の理由	
既納の観覧料	円
還付申請額	円
備考	

注意 申請者が自署しない場合又は法人である場合は、記名押印をしてください。

様式第 4 号（第 9 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用申請書

堺市長 殿

年 月 日

申 請 者	住 所（所在地）			
	法人名又は団体名			
	氏名（代表者名）		生 年 月 日	
	電 話 番 号			

堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例及び堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則を
厳守することを誓約し、同規則第 9 条第 1 項の規定により、次のとおり堺市立歴史文化に
ぎわいプラザの使用を申請します。

※ 申 請 番 号	第 号		
使 用 日 時	年 月 日（ 曜日） 時 分から 年 月 日（ 曜日） 時 分まで（ 日間）		
使 用 目 的			
使 用 施 設	茶の湯等体験室（茶室広間） 茶の湯等体験室（立礼席） 講座室 講座室（1） 講座室（2） 企画展示室 駐車場（大型車等）		
使用人数（台数）	人（台）		
使 用 責 任 者	氏 名		
	連 絡 先	電話番号（ ）	
※ 使 用 料	円		
※ 備 考			

注意 ※印の箇所は、記入しないでください。

申請に当たっては、次の内容をご確認のうえ、□にレを記入してください。

☐ 利用に当たっては、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例等の法令及び施設管理者の指示を
遵守し、節度ある施設の利用を約束します。

☐ 秩序又は風俗を乱す行為や施設等を破損する等の行為を行わないことを誓約します。

☐ 堺市暴力団排除条例に基づき、本施設の利用が暴力団の利益となる活動に該当すると認めら
れるときは、使用を許可されず、許可を取り消されても異議のないことを誓約します。

注意:堺市暴力団排除条例に基づき、申請内容等の確認のため必要に応じて、関係機関に申請
者の住所、氏名等申請書に記載されている情報を提供することがあります。
団体申請の場合は、役員名簿等の提出を求めることがあります。

様式第 5 号（第 1 1 条関係）
（表 面）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用許可書

年 月 日
様
堺市長 印

堺市立堺市立歴史文化にぎわいプラザの使用を、次のとおり条件を付して許可します。

使用許可番号	第 号	年 月 日
使用日時	年 月 日（曜日）時 分から 年 月 日（曜日）時 分まで（日間）	
使用目的		
使用施設	茶の湯等体験室（茶室広間） 茶の湯等体験室（立礼席） 講座室 講座室（1） 講座室（2） 企画展示室 駐車場（大型車等）	
使用人数（台数）	人（台）	
使用責任者	氏 名	
	連絡先	電話番号（ ）
使用料	円	
備考		

(裏 面)

使 用 許 可 条 件

- 1 この使用許可書は、常に携帯し、係員が要求するときは、これを提示してください。
- 2 許可なく、使用内容を変更しないでください。変更しようとするときは、使用許可変更申請書を提出してください。
- 3 使用权を譲渡し、他人に使用させ、又は許可なく使用目的以外に使用しないでください。
- 4 堺市立歴史文化にぎわいプラザの施設、附属設備等は、善良な管理者の注意をもって使用し、破損又は滅失したときは、損害を賠償していただくことになります。
- 5 所定の場所以外で飲食し、又は火気の使用（喫煙を含む。）をしないでください。
- 6 催し物等のポスター類の取扱いについては、事前に係員と相談してください。
- 7 非常口、消化設備等の周りには、物を置かないでください。
- 8 堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例及び堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則の規定その他係員の指示に違反したときは、使用許可を取り消し、その使用を制限し、若しくは停止し、又は退去を命ずることがあります。この場合において、使用者に損害が発生しても、本市は、その責めを負いません。
- 9 使用内容を変更しようとする場合において、その内容が堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例第7条第1項各号に該当するときは、使用許可を取り消します。
- 10 前各号に定めるもののほか、堺市立歴史文化にぎわいプラザの管理上必要があると認めるときは、条件を付けることがあります。
- 11 その他 ()

様式第 6 号（第 1 4 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用許可変更申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザの使用許可を受けた内容を変更したいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 1 4 条第 1 項の規定により、次のとおり申請します。

1 使用許可番号	年 月 日付け 第 号		
2 変更事項	変更前	変更後	
使用予定日時	年 月 日 時から 時まで	年 月 日 時から 時まで	
使用予定施設			
3 変更理由			
使用料	※変更後の金額	円	
	※既 納 額	円	
	※追 加 納 付 額	円	
	※既 納 額 照 合	年 月 日納入	

注意

- 1 再度の変更は、できません。
- 2 変更後の使用許可を取り消されたときは、使用料の還付を受けることができません。
- 3 ※印欄は、記入しないでください。

様式第 7 号（第 18 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用料減免申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザの使用料の減免を受けたいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 18 条第 2 項の規定により、次のとおり申請します。

使 用 日 時		
減 免 申 請 の 理 由		
※使 用 料 額	円	備考
※減 免 額	円	
※差 引 納 付 額	円	

注意 ※印の箇所は、記入しないでください。

様式第 8 号（第 1 9 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ使用料還付申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザの使用許可の取消しを申し出ますので、既納の使用料の還付について、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 1 9 条第 2 項の規定により、次のとおり申請します。

使用許可番号	年 月 日付け 第 号
使用予定日時	年 月 日（ 曜日） 時 分から 年 月 日（ 曜日） 時 分まで
使用予定施設	茶の湯等体験室（茶室広間） 茶の湯等体験室（立礼席） 講座室 講座室（1） 講座室（2） 企画展示室 復元茶室 駐車場（大型車等）
取消しの理由	
還付申請額	金 円（既納額の全額・半額）
堺市処理欄	※ 年 月 日納入
既納額照合	※ 金 円

注意

- 1 申請者が自署しない場合又は法人である場合は、記名押印をしてください。
- 2 使用許可書又は利用券を添付してください。
- 3 ※印の箇所は、記入しないでください。

様式第 9 号（第 2 5 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ特別利用許可申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者氏名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例及び堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則を厳守することを誓約し、同規則第 2 5 条の規定により、次のとおり資料の特別利用を申請します。

利 用 者	住 所			
	ふりがな 氏 名		利用当日 の責任者	
利 用 目 的				
利 用 形 態	熟覧、模写又は模造、撮影（写真撮影、放映（映画・テレビ等））			
利 用 期 間 及 び 日 時	年 月 日		年 月 日	
	から		まで	
	午前・午後 時 分		午前・午後 時 分	
利 用 資 料	記号・番号	品 名	数 量	備 考
その他参考事項				

注意 著作権者がある歴史文化にぎわいプラザ資料については著作権者の承諾書を、
寄託された歴史文化にぎわいプラザ資料については寄託者の承諾書をそれぞれ添付すること。

様式第 1 0 号（第 2 5 条関係）
(表面)

堺市立歴史文化にぎわいプラザ特別利用許可書

年 月 日

様

堺市長

印

次のとおり資料の特別利用を許可します。

利 用 者	住 所			
	氏 名	利用当日 の責任者		
利 用 目 的				
利 用 形 態	熟覧、模写又は模造、撮影（写真撮影、放映（映画・テレビ等））			
利 用 期 間 及 び 日 時	年 月 日		年 月 日	
	から		まで	
	午前・午後	時 分	午前・午後	時 分
利用資料	記号・番号	品 名	数 量	備 考
その他参考事項				

(裏面)

特 別 利 用 の 条 件

特別利用をする場合は、次の条件を守ってください。もし条件を守らないときは、特別利用の許可を取り消し、その利用を制限し、停止し、若しくは退館を命じ、又はその他必要な処置を講じることがあります。

- 1 この特別利用許可書は、常に携帯し、係員が要求するときは、これを提示してください。
- 2 許可なく特別利用の内容を変更しないでください。変更しようとするときは、特別利用許可申請書を再提出してください。
- 3 特別利用の権利を譲渡し、他人に利用させ、又は許可なく利用目的以外に利用しないでください。
- 4 堺市立歴史文化にぎわいプラザの資料、施設その他附属設備等を滅失し、又は損傷しないでください。もし滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、代物を弁償し、又はその損害を賠償していただくことになります。
- 5 所定の場所以外で飲食し、又は火気の使用（喫煙を含む。）をしないでください。
- 6 堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例及び堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則の規定その他堺係員の指示を守ってください。
- 7 その他（ ）

様式第 1 1 号（第 2 6 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ利用料減免申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザの使用料の減免を受けたいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 2 6 条第 2 項の規定により、次のとおり申請します。

利用期間及び日時	年 月 日 から 午前・午後 時 分	年 月 日 まで 午前・午後 時 分
減免申請の理由		
※利 用 料 額	円	備考
※減 免 額	円	
※差 引 納 付 額	円	

注意 ※印の箇所は、記入しないでください。

様式第 12 号（第 27 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ利用料還付申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

利用料の還付について、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 27 条第 2 項の規定により、次のとおり申請します。

許 可 番 号	第 号		
許 可 年 月 日	年 月 日		
還 付 の 理 由			
既納の特別利用料	金 円		
還 付 申 請 額	金 円		
堺 市 処 理 欄 既 納 額 照 合	※ 年 月 日納入	※ 金 円	

注意

- 1 申請者が自署しない場合又は法人である場合は、記名押印をしてください。
- 2 使用許可書又は利用券を添付してください。
- 3 ※印の箇所は、記入しないでください。

様式第 1 3 号（第 2 8 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料館外貸出許可申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者氏名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例及び堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則を
厳守することを誓約し、同規則第 2 8 条第 2 項の規定により次のとおり資料の館外貸出し
を申請します。

利 用 目 的				
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで			
利 用 場 所				
利 用 方 法				
貸 出 資 料	記号・番号	品 名	数 量	備 考
輸 送 方 法				
資料取扱責任者				学芸員資格（ 有・無 ）
その他参考事項				

様式第 1 4 号（第 2 8 条関係）
（表面）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料館外貸出許可書

年 月 日

様

堺市長 印

次のとおり資料の館外貸出しを許可します。

利 用 目 的				
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで			
利 用 場 所				
利 用 方 法				
貸 出 資 料	記号・番号	品 名	数 量	備 考
輸 送 方 法				
資料取扱責任者			学芸員資格（ 有・無 ）	
その他参考事項				

(裏面)

館 外 貸 出 条 件

館外貸出しを受ける場合は、次の条件を守ってください。もし条件を守らないときは、館外貸出しの許可を取り消し、その他必要な措置を講じることがあります。

- 1 この館外貸出許可書は、館外貸出しを受けるときには、係員に提示してください。
- 2 許可なく館外貸出しの内容を変更しないでください。変更しようとするときは、館外貸出許可申請書を再提出してください。
- 3 館外貸出しを受ける権利を譲渡し、他人に利用させ、又は許可なく利用目的以外に利用しないでください。
- 4 貸出資料を滅失し、又は損傷しないでください。もし、滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、代物を弁償し、又はその損害を賠償していただくことになります。
- 5 堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例及び堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則の各規定その他係員の指示を守ってください。
- 6 その他 ()

様式第 1 5 号（第 3 0 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料寄贈申込書

年 月 日

堺市長 殿

申込者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者氏名）

電話番号

次のとおり資料を堺市立歴史文化にぎわいプラザに寄贈したいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 3 0 条第 1 項の規定により、申し込みます。

品 名	
品 質 ・ 形 状	
寸 法	
数 量	
備 考	

様式第 1 6 号（第 3 0 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料寄託申込書

年 月 日

堺市長 殿

申込者 住所（所在地）

氏名（名称）

（代表者氏名）

電話番号

次のとおり資料を堺市立歴史文化にぎわいプラザに寄託したいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 3 0 条第 1 項の規定により、申し込みます。

品 名	
品 質 ・ 形 状	
寸 法	
数 量	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
備 考	

様式第 1 7 号（第 3 0 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料受領書

年 月 日

様

堺市長 印

次のとおり堺市立歴史文化にぎわいプラザに寄贈を申し込まれた資料を受領しました。

品名	
品質・形状	
寸法	
数量	
備考	

様式第 1 8 号（第 3 0 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ資料受託書

年 月 日

様

堺市長 印

次のとおり堺市立歴史文化にぎわいプラザに寄託を申し込まれた資料を受託しました。

品名	
品質・形状	
寸法	
数量	
受託期間	年 月 日から 年 月 日まで
館外貸出	可 ・ 不可
備考	

- 注意
- 1

寄託資料は、特約の定めがある場合のほか、堺市立歴史文化にぎわいプラザが所蔵する資料と同じ取扱いをします。
- 2

寄託資料の返還は、この受託書と引換えに行います。
- 3

この受託書を紛失し、又は滅失したときは、直ちに堺市立歴史文化にぎわいプラザに届け出てください。

様式第 1 9 号（第 3 2 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ破損（滅失）届

年 月 日

堺市長 殿

届出人 住所（申請者）

氏名（名称）

（代表者名）

電話番号

堺市立歴史文化にぎわいプラザの施設、附属設備等を破損(滅失)したので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例施行規則第 3 2 条の規定により、次のとおり届け出ます。ついては、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例第 1 9 条の規定により、指示に従いその損害を賠償します。

破 損 （ 滅 失 ） 日 時	午前 年 月 日 時 分 午後		
破 損 （ 滅 失 ） 箇 所 又 は 物 件			
破 損 （ 滅 失 ） の 内 容 又 は 程 度			
※ 賠 償 処 理 欄	指 示 賠 償 額	円	
	賠 償 額	円	
	賠 償 年 月 日	年 月 日	

注意 ※印の箇所は、記入しないでください。

様式第 20 号（第 33 条関係）

堺市立歴史文化にぎわいプラザ指定管理者指定申請書

年 月 日

堺市長 殿

申請者 所 在 地

団 体 名

代表者氏名 ふりがな 印

生年月日

堺市立歴史文化にぎわいプラザの指定管理者の指定を受けたいので、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例第 22 条第 2 項の規定により申請します。

注意 申請に当たっては、次の書類を添付してください。

- (1) 堺市立歴史文化にぎわいプラザの管理運営に係る事業計画書及び収支予算書
- (2) 財務諸表等経営の状況を示す書類
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに類する書類
- (4) 法人の登記簿に記録されている事項の全部を証明する書類
- (5) 役員名簿
- (6) その他市長が特に必要と認める書類

様式第1号（第3条関係）

様式第2号（第6条関係）

（令2規則89・全改）

様式第3号（第7条関係）

（令2規則89・全改）

様式第4号（第9条関係）

様式第5号（第11条関係）

（令3規則53・一改）

様式第6号（第14条関係）

（令2規則89・全改）

様式第7号（第18条関係）

（令2規則89・全改）

様式第8号（第19条関係）

（令2規則89・全改）

様式第9号（第25条関係）

（令2規則89・全改）

様式第10号（第25条関係）

（令3規則53・一改）

様式第11号（第26条関係）

（令2規則89・全改）

様式第12号（第27条関係）

（令2規則89・全改）

様式第13号（第28条関係）

（令2規則89・全改）

様式第14号（第28条関係）

様式第15号（第30条関係）

（令2規則89・全改）

様式第16号（第30条関係）

（令2規則89・全改）

様式第17号（第30条関係）

様式第18号（第30条関係）

様式第 19 号 (第 32 条関係)

(令 2 規則 89・全改)

様式第 20 号 (第 33 条関係)